

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公表番号】特表 2020-512385 (P2020-512385A)
 【公表日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-016
 【出願番号】特願 2019-553971 (P2019-553971)
 【国際特許分類】

C 0 7 K 14/315 (2006.01)

C 0 7 K 1/22 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/315 Z N A

C 0 7 K 1/22

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 3 月 26 日 (2021.3.26)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直鎖炭化水素鎖に結合した抗体結合ペプチドを含む免疫両親媒性物質。

【請求項 2】

前記抗体結合ペプチドが生理的 pH の水溶液中にあるときに - ヘリックス構造を有する、請求項 1 に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項 3】

前記抗体結合ペプチドが黄色ブドウ球菌のプロテイン A の Z 3 3 ペプチドの親水性アミノ酸配列、またはその機能的部分もしくは断片もしくは誘導体を有する、請求項 1 に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項 4】

前記抗体結合ペプチドがアミノ酸配列 F N M Q Q Q R R F Y E A L H D P N L N E E Q R N A K I K S I R D D (配列番号 1)、またはその機能的部分もしくは断片もしくは誘導体を有する、請求項 1 に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項 5】

前記直鎖炭化水素鎖は、長さが約 8 から約 22 個の炭素の少なくとも 2 つの炭化水素鎖を含む、請求項 1 に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項 6】

前記直鎖炭化水素鎖が、長さが約 8 個の炭素の少なくとも 2 つの炭化水素鎖を含む、請求項 5 に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項 7】

蛍光色素に結合される、請求項 1 に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項 8】

前記蛍光色素がローダミン B である、請求項 7 に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項 9】

以下の工程を含む、抗体または Fc 融合タンパク質の精製方法：

a) 請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の免疫両親媒性物質を生理的 pH の水溶液に溶解させ、該免疫両親媒性物質が免疫繊維 (IF) に自己集合するように一晩熟成させる

工程；

b) 抗体または F c 融合タンパク質を含む試料を前記 I F と混合し、これにより、前記 I F を抗体または F c 融合タンパク質の F c 部分に結合させ、溶液中に免疫繊維 - 抗体複合体または免疫繊維 - F c 融合タンパク質複合体を形成させる工程；

c) 塩を加えて遠心分離することにより、前記免疫繊維 - 抗体複合体または前記免疫繊維 - F c 融合タンパク質複合体を溶液から分離する工程；ならびに

d) 前記 I F を前記抗体または F c 融合タンパク質から解離させ、未結合の抗体または F c 融合タンパク質を収集する工程。

【請求項 10】

前記 p H を溶出条件に下げることおよび濾過または精密濾過により、前記 I F を前記抗体または F c 融合タンパク質から分離する、請求項 9 に記載の方法。